

シーサイドギャラリー2014夏

毎年8月15日に入野の浜で開催される「シーサイドギャラリー」。今年の夏は天候が不安定で、開催が危ぶまれましたが、午後には雨も上がり、予定通り行うことができました。

午後6時、日が暮れて涼しくなった砂浜で行われた「砂浜ヨガ」には、町民や観光客など約10人が参加。波の音をBGMに、気持ちよく体をほぐしました。

午後7時からは「ルアナと楽しい仲間たち」のフラダンス。ハワイアンの音楽に乗せて優雅な踊りを披露してくれました。

次第に宵闇が濃くなり、いよいよ



上・誰でも参加できる砂浜ヨガ。講師は山元彩乃さん。中・やぐらの前でフラダンス。ハワイの風を感じるひとときです。下・そろいの法被で踊った入野本村の皆さん。

よ盆踊り大会。時間とともに飛び入り参加が増えて、やぐらを囲む踊り子の輪は2重3重になっていきます。子どもも大人もみんな笑顔で、見よう見まねで踊ったり、飛んだり跳ねたり。

踊り疲れた午後8時40分。ちょうどちんや投光器の明かりが消え、会場東側の砂浜から花火が打ち上げられました。

シーサイドギャラリーでは、住民や地元企業の寄付により花火を打ち上げます。花火約500発、打上げ時間30分と、規模は小さめですが、砂浜に座って間近に見上げるのが人気。今年も約1万2000人の方が夏の夜を楽しみました。

坂折地区で小学生らが紙こいのぼりづくり



8月11日には、集会所に地元の小学生9人が集合。紙こいのぼりの色付けなどを行いました。

毎年4月下旬から5月上旬に、坂折地区の伊与木川周辺に展示されるカツオのぼりと紙こいのぼり。夏休みを利用して、地元小学生や佐賀中学校・大方高校の美術部員らが、紙こいのぼりの作成に協力しました。



できあがった紙こいのぼりは、来年の展示に使用されるほか、5月3日のフェスティバルで子どもたちにもプレゼントされます。

加茂神社の夏祭り 新しい法被と太鼓で舞を奉納



花取りを踊る浜の宮地区の子どもたち。新しい太鼓の力強い音が鳴り響きました。

入野松原内にある加茂神社で、7月20日、夏祭りが行われました。例年、早咲、浜の宮、万行、入野本村、芝の5地区が1年交代で神輿を担いでおり、今年は浜の宮地区が担当。



当日は、コミュニティ助成事業で購入した新しい法被や股引きを着た男性らが、神輿を担いで参道を練り歩き、子どもたちが花取り踊りを奉納しました。